

かんたん UI パッケージ インストールガイド

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、管理者向けに、「かんたん UI パッケージ」のインストール方法を記載しています。本パッケージをご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターや、機械の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューターに付属の説明書をお読みください。お使いの機械の操作方法については、機械に同梱されている『管理者ガイド』や『ユーザーズガイド』などのマニュアルをご覧ください。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer は、
米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
その他の製品名、会社名は、各社の登録商標または商標です。
Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、および CentreWare は、
米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

目次

目次	2
かんたん UI パッケージについて	3
かんたん UI パッケージ A/ かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）について	4
インストールする前に	5
対応機種	5
動作環境	5
対応 OS	5
ソフトウェアオプションのパスワード設定	6
かんたんメニューを利用するための環境設定	8
CentreWare Internet Services での SSL/TLS 設定	10
インストールの手順	13
インストール結果の確認	17
アンインストール / バージョンアップの手順	19
各機能を使用する前に	21
かんたんメニューの設定	21
各機能を利用するための環境設定	25
かんたんメニューを利用しない場合の設定	26
索引	29

かんたん UI パッケージについて

「かんたん UI パッケージ」は、複合機でよくお使いの機能を、より簡単な操作で利用できるようにするための追加型アプリケーションです。

本パッケージをインストールすると、通常のメニュー画面の代わりに「かんたんメニュー」画面が表示され、そこから本パッケージで追加された以下の機能と既存の機能を利用できます。

補足

- 各機能の詳細、操作方法、および使用上の注意事項については、『かんたん UI パッケージ A 取扱説明書』、または『かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）取扱説明書』を参照してください。

■ かんたんメニュー

よく使う機能だけを大きく表示させたメニュー画面を、機械管理者が作成し、通常のメニュー画面の代わりに表示できます。また、認証モード運用時は、認証ユーザーが個々に自分の使うボタンだけを配置させることもできます。

注記

- 追加型アプリケーションである「かんたんコピー」、「自分にメール」、「かんたんメニュー」は、標準で用意されているメニューやサービス画面に比べて、起動してから操作が可能になるまで時間がかかります。

補足

- 「かんたんメニュー」を利用せずに、通常のメニュー画面から「かんたんコピー」や「自分にメール」を利用することもできます。設定方法については、「かんたんメニューを利用しない場合の設定」(P.26)を参照してください。

■ かんたんコピー

通常のコピー画面からよく使う機能を絞った画面で、簡単にコピーできます。

■ 自分にメール

簡単な手順で、スキャンデータを、認証ユーザーのメールアドレス宛てに送信できます。

■ ワンタッチアプリケーション

原稿をセットし、メニュー画面のボタンを押すだけでスタートします。

機能ボタン	説明
そのままコピー（片面）	片面の原稿をそのままの色やサイズでコピーします。
そのままコピー（両面）	両面の原稿をそのままの色やサイズでコピーできます。
白黒 A4 にコピー（片面）	原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、片面でコピーします。
白黒 A4 にコピー（両面）	原稿の色やサイズを問わず、白黒、A4、両面でコピーします。
ボックス #001 にスキャン（片面）	片面原稿をスキャンします。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。
ボックス #001 にスキャン（両面）	両面原稿をスキャンします。スキャンデータは、親展ボックスの 001 から取り出せます。

かんたん UI パッケージ A/ かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）について

「かんたん UI パッケージ」は、お使いの機械の環境に合わせて、次の 2 種類を用意しています。パッケージによって、利用できる機能が異なります。

■ かんたん UI パッケージ A

お使いの機械で、認証機能を利用していない場合に、ご利用ください。

■ かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）

お使いの機械で、認証機能（本体認証、または外部認証）を利用している場合に、ご利用ください。

注記

- 認証モードが「外部認証」の場合、「認証システム」を「Authentication Agent」以外に設定すると、本パッケージに含まれる機能において、サービスの利用制限が適用されません。そのため、コピーやスキャンの利用を制限していても、本パッケージに含まれる機能は、利用可能な状態となります。

「かんたん UI パッケージ A」と、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」で、それぞれ利用できる機能は、次のとおりです。

機能名	かんたん UI パッケージ A	かんたん UI パッケージ B (認証モード 運用時)
かんたんメニュー	○	○
かんたんコピー	○	○
自分にメール	×	○
そのままコピー（片面）	○	○
そのままコピー（両面）	○	○
白黒 A4 にコピー（片面）	○	○
白黒 A4 にコピー（両面）	○	○
ボックス #001 にスキャン（片面）	○	○
ボックス #001 にスキャン（両面）	○	○

○：利用できます。
×：利用できません。

注記

- 必ず、お使いの機械で認証機能を利用しているかどうかを確認し、正しいパッケージをご利用ください。誤ったパッケージをインストールした場合や、インストール後に認証機能の運用を変更する場合、パッケージをアンインストールすると、すべてのユーザーの「かんたんメニュー」の設定が削除されるのでご注意ください。
「かんたんメニュー」の設定を引き続き利用する場合は、次のように対処してください。
- 認証機能を利用しているが「かんたん UI パッケージ A」をインストールした場合、および「かんたん UI パッケージ A」のインストール後に、認証機能の利用を開始した場合は、「自分にメール」を追加できます。「アンインストール / バージョンアップの手順」(P.19) を参照し、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」のインストールツールで、バージョンアップをしてください。「かんたんメニュー」画面に「自分にメール」が表示されない場合は「機能ボタンの追加」(P.21) を参照して、機能ボタンを追加してください。
- 認証機能を利用していないが「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」をインストールした場合、および「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」のインストール後に、認証機能の利用を中止した場合は、「自分にメール」が利用できません。「機能ボタンの削除」(P.23) を参照し、「かんたんメニュー」画面から「自分にメール」を削除してください。

インストールする前に

「かんたん UI パッケージ」をインストールする前に、対応機種や動作環境を確認し、機械での設定をしておく必要があります。

対応機種

本パッケージを利用できる機種は、弊社公式サイトのダウンロードページで確認できます。

URL：

<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

動作環境

本パッケージに含まれる各機能は、次の環境で動作します。お使いの機械の環境が条件を満たしていない場合は、必要なオプションを増設してください。

- 内蔵ハードディスク搭載機
- システムメモリー 2GB 以上搭載機
- プリンターキット搭載機
- スキャナーキット搭載機

補足

- ソリッドステートドライブを装着した機械をお使いの場合、「ハードディスク」は、「ソリッドステートドライブ」と読み替えてください。

お使いの機械が、内蔵ハードディスク、およびシステムメモリーの環境が条件を満たしているかを確認する手順は、次のとおりです。

- 1 操作パネルの〈機械確認（メーター確認）〉ボタンを押します。
- 2 [機械状態 レポート出力] タブの[機械構成] を押します。
- 3 [内蔵ハードディスク] の項目が表示されていることと、[システムメモリーサイズ] の項目が 2048MB 以上であることを確認します。
- 4 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

対応 OS

お使いの機械で本パッケージをインストール、アンインストール、およびバージョンアップするときは、ネットワークに接続されたコンピューターを利用します。

本機能のインストールツールが対応する、コンピューターの OS は、次のとおりです。

- Microsoft® Windows® XP Service Pack 2/3 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows Vista® Service Pack 1/2 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 7 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows XP x64 Edition Service Pack 2 日本語 / 英語版

- Microsoft Windows Vista 64 ビット Service Pack 1/2 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 7 64 ビット 日本語 / 英語版
- Microsoft Windows 8 64 ビット 日本語 / 英語版

ソフトウェアオプションのパスワード設定

次の機種では、ソフトウェアオプションのパスワードを設定する必要があります。

パスワードは、大文字・小文字・記号を組み合わせた 13 桁で構成されます。お使いの機種のパスワードを、次の表で確認してください。

機種名	パスワード
ApeosPort-IV C5575/C4475/C3375/C2275 DocuCentre-IV C5575/C4475/C3375/C2275	CNCQUUAVDJFH@

注記

- パスワードを設定し、ソフトウェアオプションを利用できるようにすると、機械のウォームアップ時間が通常よりも数秒長くなります。

補足

- お使いの機械の [仕様設定 / 登録] 画面で、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] が表示される場合は、ソフトウェアオプションのパスワードがすでに設定されています。「かんたんメニューを利用するための環境設定」(P.8) の手順に進んでください。
- 上記の表は、2013 年 6 月現在のもので、対象機種やパスワードは予告なく変更されることがあります。パスワード設定の要否、およびパスワードが不明な場合は、弊社の営業担当者にお尋ねください。

パスワードの設定手順

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

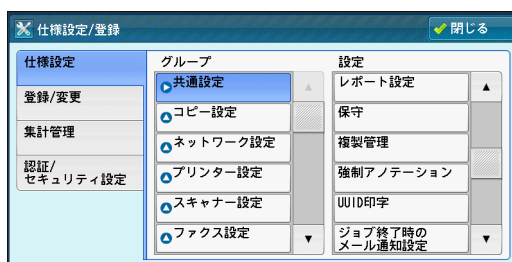
3 メニュー画面で、[仕様設定 / 登録] を押します。



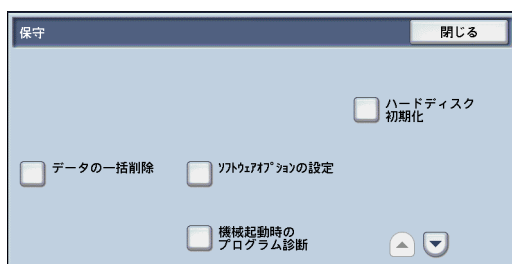
補足

- 本書で記載している画面は、お使いの機種により異なります。

4 [仕様設定] > [共通設定] > [保守] を選択します。



5 [ソフトウェアオプションの設定] を選択します。



6 キーボードを使用して、お使いの機種のパスワードを入力します。



7 [再起動] を押します。

機械が再起動します。

かんたんメニューを利用するための環境設定

本パッケージのインストール後、正しくインストールされたことを確認するために、[かんたんメニュー] 画面が表示されることを確認します。

そのため、お使いの機械で、あらかじめ次の「かんたんメニュー」を利用するための環境を設定する必要があります。

項目	設定内容	参照
SOAP ポート	<ul style="list-style-type: none"> SOAP ポート：起動 ポート番号：80 	「SOAP ポート」(P.8)
プロトコル設定	<ul style="list-style-type: none"> IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための設定 	「プロトコル設定」(P.8)
Web ブラウザー設定	<ul style="list-style-type: none"> [外部アクセスバージョンの選択]：[V4（新バージョン）] 	「Web ブラウザー設定」(P.9)

なお、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」を利用する場合は、次の認証の項目が設定されているか、確認してください。

項目	設定内容	参照
認証方式の設定	<ul style="list-style-type: none"> [認証方式の設定]：[本体認証] または [外部認証] ユーザーの登録 	「認証方式の設定」(P.9)
アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> [デバイスへのアクセス]：[制限する] 	「アクセス制御」(P.9)

参照

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

補足

- 設定内容によっては、機械の再起動が必要です。再起動を指示する画面が表示された場合は、再起動してください。

SOAP ポート

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [ポート設定] > [SOAP] を選択し、[確認 / 変更] を押します。
- 2 次の項目を設定します。
 - [SOAP - ポート]：[起動]
 - [SOAP - ポート番号]：[80]
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

プロトコル設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] を選択し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目を設定します。
- 2 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。

- 3 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

Web ブラウザー設定

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [Web ブラウザー設定] > [外部アクセスバージョンの選択] を選択し、[確認 / 変更] を押します。

補足

- [Web ブラウザー設定] が表示されない場合は、ソフトウェアオプションのパスワード設定が必要です。詳しくは、「ソフトウェアオプションのパスワード設定」(P.6) を参照してください。

- 2 [V4 (新バージョン)] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

認証方式の設定

補足

- 「かんたん UI パッケージ B (認証モード運用時)」を利用する場合に、設定が必要です。

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [認証方式の設定] を押します。
- 2 [本体認証] または [外部認証] を選択し、[決定] を押します。
- 3 本体認証の場合は、本機能を使用するユーザーを登録します。
[仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [ユーザー登録 / 集計確認] を押します。

補足

- 外部認証の場合は、手順 9 に進みます。

- 4 登録する番号を選択し、[登録 / 確認] を押します。
- 5 登録する User ID を入力し、[決定] を押します。
- 6 [ユーザー名] を押して、登録するユーザー名を入力し、[決定] を押します。
- 7 必要に応じて、その他の項目を設定し、[閉じる] を押します。
- 8 手順 4 ~ 7 を繰り返し、ユーザーを登録します。
- 9 [閉じる] を押します。
- 10 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

アクセス制御

補足

- 「かんたん UI パッケージ B (認証モード運用時)」を利用する場合に、設定が必要です。

- 1 [仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [デバイスへのアクセス] を選択します。

- 2 [制限する] を選択し、[決定] を押します。
- 3 [仕様設定 / 登録] 画面が表示されるまで、[閉じる] を押します。
- 4 他の項目を設定しない場合は、[閉じる] を押します。

CentreWare Internet Services での SSL/TLS 設定

本パッケージは、インストール、アンインストール、およびバージョンアップ時に、ネットワークに接続されたコンピューターとお使いの機械との間で SSL/TLS プロトコルを使用して HTTP 通信を行います。

SSL/TLS を有効にするため、CentreWare Internet Services で次の設定が必要です。

- 1 ネットワークに接続されたコンピューターで、Web ブラウザーを起動します。
- 2 Web ブラウザーのアドレス入力欄にお使いの機械の IP アドレスを入力し、〈Enter〉キーを押します。CentreWare Internet Services が起動されます。

補足

- CentreWare Internet Services への接続時、または操作中にユーザー名とパスワードを求める画面が表示された場合は、機械管理者 ID とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

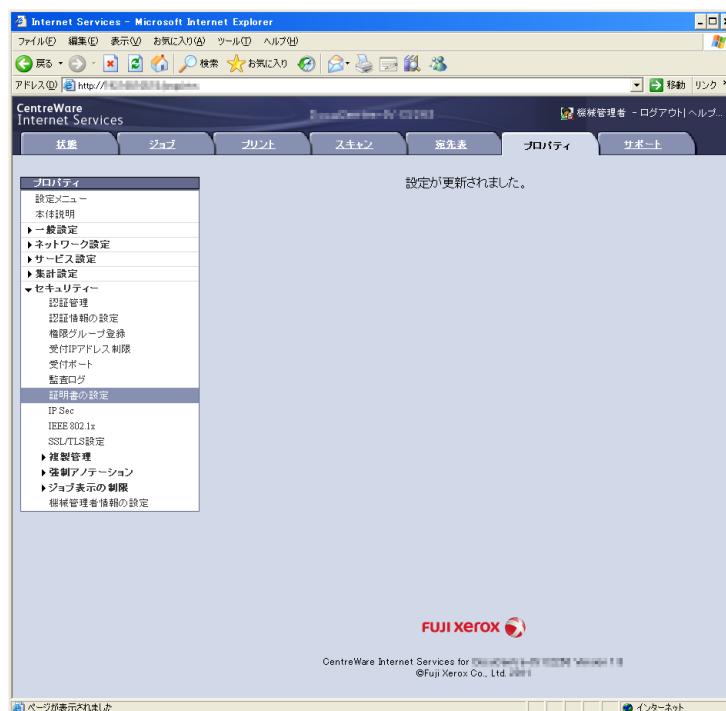
- 3 [プロパティ] タブ > [セキュリティ] > [証明書の設定] で、[自己証明書の作成] をクリックします。



4 「新しい設定を適用」 をクリックします。



5 設定が更新されて、次の画面が表示されたら、Web ブラウザーの再読み込みを実行します。

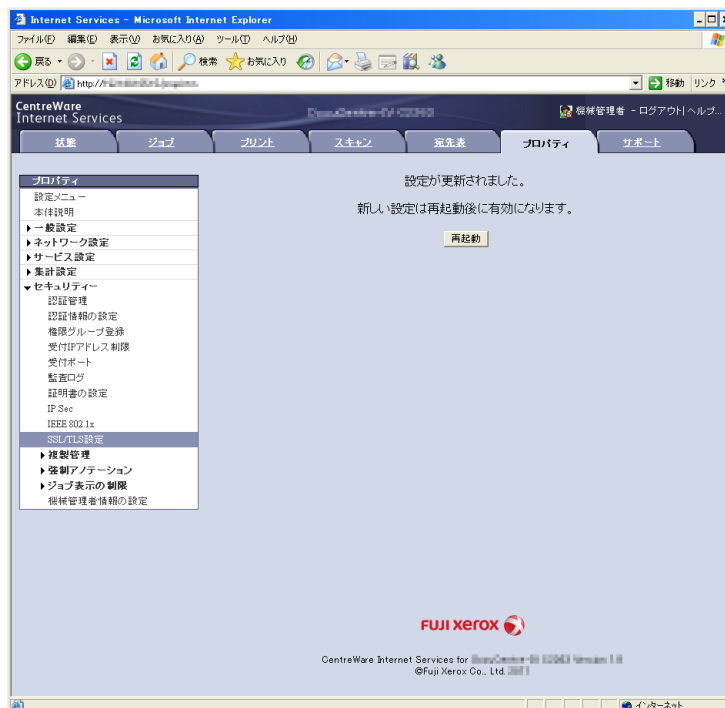


- 6 [プロパティ] > [セキュリティ] > [SSL/TLS 設定] で、[HTTP-SSL/TLS 通信] の [有効] にチェックを付けます。



- 7 [新しい設定を適用] をクリックします。

- 8 Web ブラウザーに、機械の再起動を指示するメッセージが表示されたら、[再起動] をクリックします。



- 9 確認画面で [OK] をクリックすると、機械が再起動し、設定した値が反映されます。

インストールの手順

「かんたん UI パッケージ」を、お使いの機械にインストールする手順について説明します。

注記

- お使いの機械に、すでに「個人メニュー」がインストールされている場合は、次の点にご注意ください。
- 本パッケージのインストール時は、「アンインストール / バージョンアップの手順」(P.19) を参照し、バージョンアップを行うと、「個人メニュー」での設定を、引き続き「かんたんメニュー」で利用できます。「個人メニュー」を削除してから、本パッケージをインストールし直すと、「個人メニュー」での設定がすべて消去されますので、ご注意ください。
- 本パッケージのインストール後、[かんたんメニュー] 画面で、本パッケージで提供している各機能のボタンを表示できるようになります。
自動的にそれらのボタンが表示されない場合は、「機能ボタンの追加」(P.21) を参照して、必要な機能ボタンを追加してください。
- 本パッケージのインストール後は、「個人メニュー」をインストールしないでください。本パッケージの「かんたんメニュー」の機能が利用できなくなります。
- 本パッケージのインストール後に、「個人メニュー」をインストールしてしまった場合は、「アンインストール / バージョンアップの手順」(P.19) を参照して、本パッケージのバージョンアップを行うと、「かんたんメニュー」の機能が再び利用できるようになります。

補足

- 機械の操作中およびジョブ実行中はインストールできません。
- 本パッケージのインストール中は、機械のパネルには「外部機器からの設定中」の表示と通常画面が繰り返し表示されます。通常画面に戻ったときに次のようなことが発生すると、インストールが途中で終了する場合があります。
 - 機械の操作パネルを操作した
 - Smart WelcomEyes が人を検出した
- インストールが途中で終了した場合は、表示された画面で [インストーラーを再実行する] のチェックボックスを有効にして [再インストール] ボタンを押してください。インストール画面に戻って再度インストールを実行することができます。

- 1 お使いのコンピューターで、次の弊社公式サイトのダウンロードページから、インストールツールをダウンロードします。

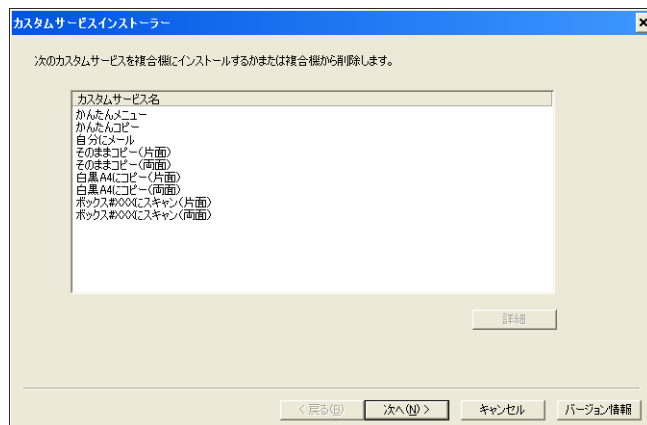
<http://www.fujixerox.co.jp/download/>

- 2 ダウンロードした圧縮ファイル (.zip) を解凍し、フォルダー内の exe ファイルをダブルクリックします。

補足

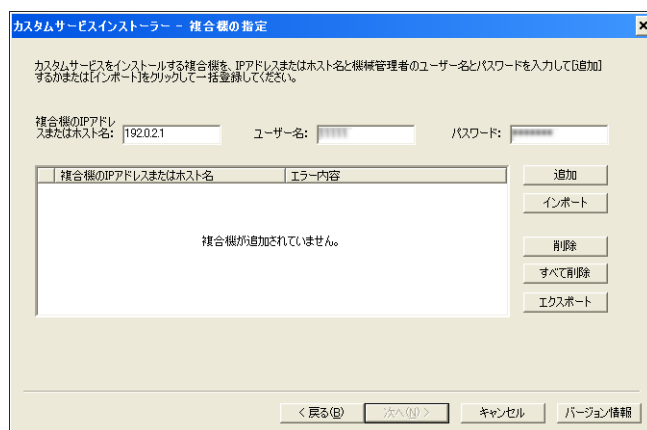
- [セキュリティの警告] 画面が表示された場合は、[実行] をクリックして続行してください。

3 [次へ] をクリックします。



4 本パッケージをインストールする機械の IP アドレス、および機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、[追加] をクリックします。

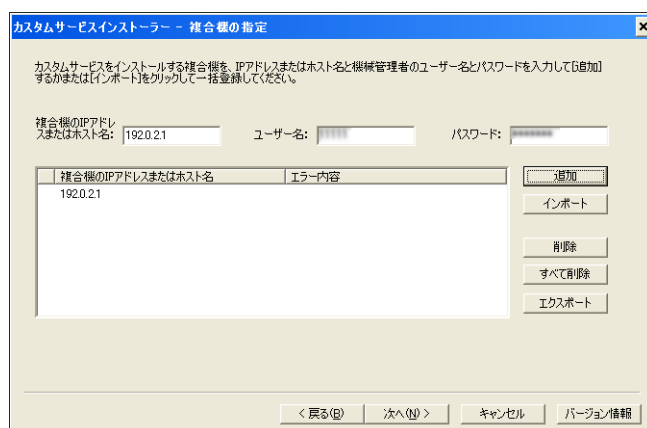
IP アドレスの例：192.0.2.1



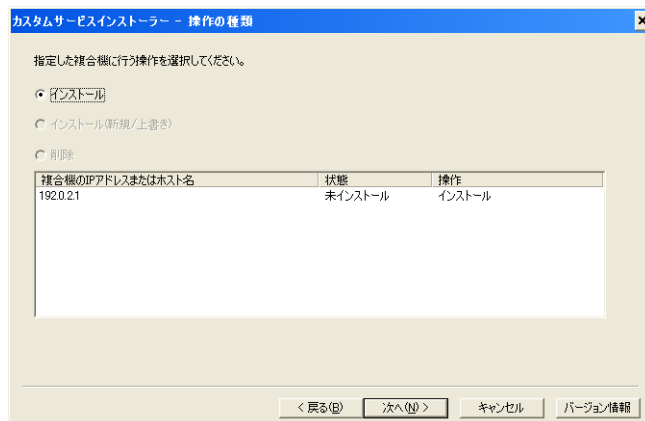
補足

- 複数の機械にインストールする場合は、この手順を繰り返します。
- [エクスポート] をクリックすると、ここで指定した情報を CSV ファイルに保存できます。また、[インポート] をクリックして、保存した CSV ファイルの情報を読み込むこともできます。

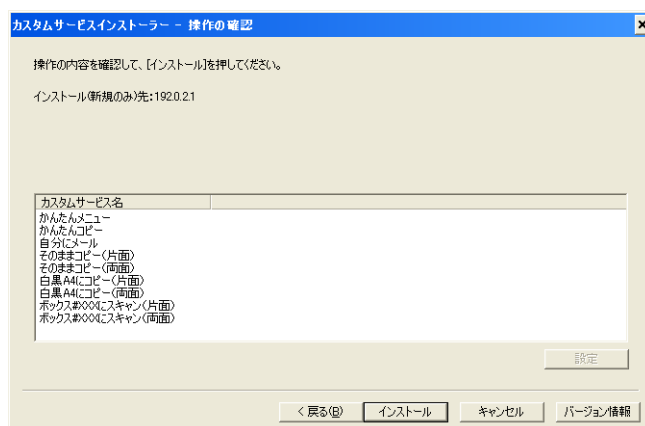
5 機械の IP アドレスが登録されたら、[次へ] をクリックします。



6 [インストール] を選択し、[次へ] をクリックします。



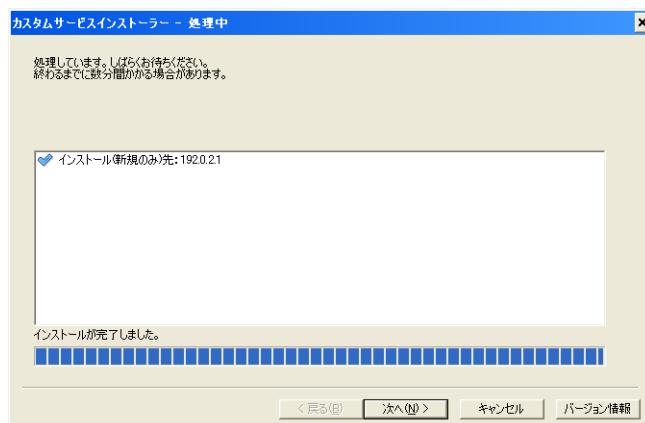
7 [インストール] をクリックします。



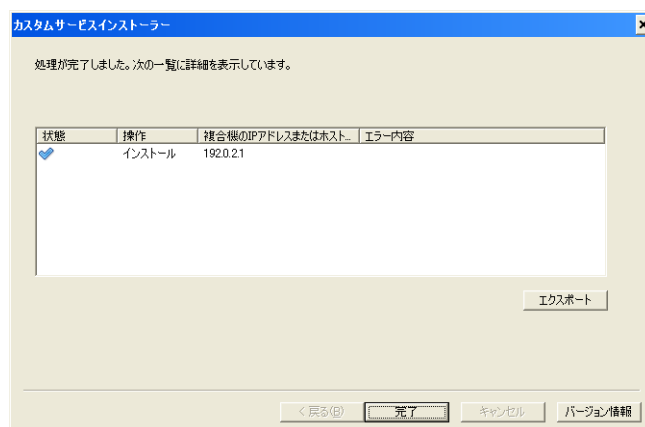
補足

- インストールの完了画面が表示されるまでに、数分かかる場合があります。

8 [次へ] をクリックします。



9 「完了」をクリックします。



補足

- インストールが完了したら、「インストール結果の確認」(P.17) を参照し、機械に正しくインストールされているか確認してください。

インストール結果の確認

「かんたん UI パッケージ」が、機械に正しくインストールされているか確認する手順について説明します。

- 1 操作パネルの〈メニュー〉ボタンを押します。
- 2 「かんたんメニュー」画面が表示されることを確認します。
これらの画面が表示された場合は、本パッケージのインストールが完了しています。

■「かんたん UI パッケージ A」の場合

初期設定では、本パッケージの機能ボタン（5 つ）と、既存の機能である［ファクス］、［スキャナー（ボックス保存）］、［ボックス操作］のボタンが表示されます。



■「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」の場合

初期設定では、本パッケージの機能ボタン（4 つ）と、既存の機能である［プライベートプリント］と［ファクス］のボタンが表示されます。



補足

- これらの画面が表示されない場合は、必要な環境設定が機械に正しく設定されているか確認してください。環境設定については、「かんたんメニューを利用するための環境設定」(P.8) を参照してください。
- 「ファクス」を使用するにはファクスキットが必要です。また、「プライベートプリント」を使用するには、お使いの機能でプライベートプリントの設定がされている必要があります。プライベートプリントの設定方法は、『管理者ガイド』を参照してください。
- 使用できない機能や、使わない機能のボタンは、事前に削除しておくことをお勧めします。ボタンの削除方法は、「かんたんメニューの設定」(P.21) を参照してください。

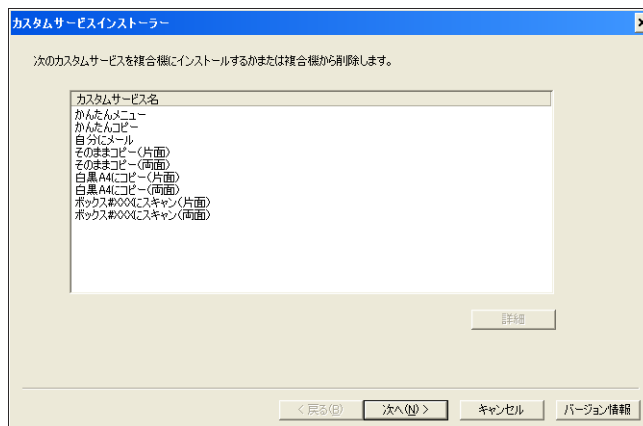
アンインストール / バージョンアップの手順

お使いの機械にインストールされた「かんたん UI パッケージ」を、アンインストール、およびバージョンアップする手順について説明します。

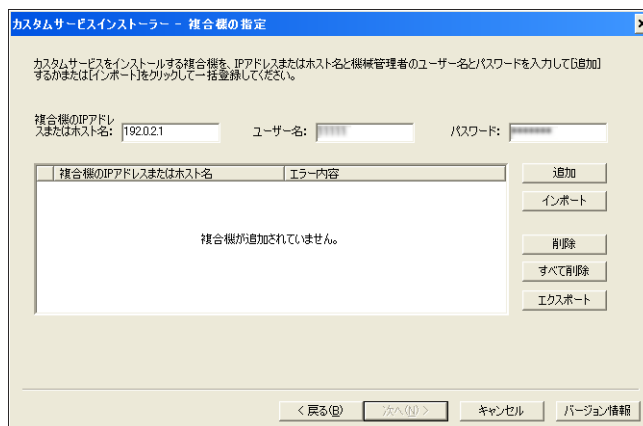
補足

- 本パッケージをアンインストールした場合、「かんたん UI パッケージ」に含まれるすべての機能、およびすべてのユーザーの「かんたんメニュー」の設定が削除されます。

- 1 お使いのコンピュータで、インストールツールの exe ファイルをダブルクリックします。
- 2 「次へ」をクリックします。



- 3 本パッケージをアンインストール、またはバージョンアップする機械の IP アドレス、および機械管理者のユーザー名とパスワードを入力し、「追加」をクリックします。
IP アドレスの例：192.0.2.1



補足

- 複数の機械でアンインストール、またはバージョンアップする場合は、この手順を繰り返します。
- 「エクスポート」をクリックすると、ここで指定した情報を CSV ファイルに保存できます。また、「インポート」をクリックして、保存した CSV ファイルの情報を読み込むこともできます。

4 機械の IP アドレスが登録されたら、[次へ] をクリックします。

カスタムサービスインストーラー - 機械の指定

カスタムサービスをインストールする機械を、IPアドレスまたはホスト名と機械管理者のユーザー名とパスワードを入力して[追加]するかまたは[インポート]をクリックして一括登録してください。

機械のIPアドレスまたはホスト名: 192.0.21 ユーザー名: パスワード:

機械のIPアドレスまたはホスト名	エラー内容
192.0.21	

[追加] [インポート] [削除] [すべて削除] [エクスポート]

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル バージョン情報

5 アンインストールする場合は [削除]、バージョンアップする場合は [インストール (新規 / 上書き)] を選択し、[次へ] をクリックします。

カスタムサービスインストーラー - 操作の種類

指定した機械に行う操作を選択してください。

☐ インストール

☒ インストール(新規/上書き)

☐ 削除

機械のIPアドレスまたはホスト名	状態	操作
192.0.21	インストール済み	インストール(新規/上書き)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル バージョン情報

補足

- [インストール (新規 / 上書き)] を選択した場合、各ユーザーの「かんたんメニュー」の設定は削除されません。バージョンアップ後も同じ設定を利用できます。
- [バージョン情報] をクリックすると、「かんたん UI パッケージ」インストールツールのバージョンが確認できます。なお、「かんたん UI パッケージ」インストールツールのバージョンは、「かんたんメニュー」や、各コンテンツのバージョンとは異なります。「かんたんメニュー」や、各コンテンツのバージョンを確認する方法は、『かんたん UI パッケージ A 取扱説明書』、または『かんたん UI パッケージ B (認証モード運用時) 取扱説明書』を参照してください。

6 アンインストールする場合は [削除]、バージョンアップする場合は [インストール] をクリックします。

補足

- アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されるまでに、数分かかることがあります。

7 アンインストール、またはバージョンアップの完了画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

8 [完了] をクリックします。

各機能を使用する前に

「かんたん UI パッケージ」の各機能を利用する前に必要な設定を説明します。

かんたんメニューの設定

「かんたん UI パッケージ」をインストールすると、「かんたんメニュー」画面に初期設定の機能ボタンが表示されます。

本パッケージに含まれる、その他の機能を使用したい場合は、機能ボタンを追加してください。

また、初期設定では、お使いの機械で使用できない機能のボタンも表示されることがあります。使用できない機能や、使わない機能のボタンは、事前に削除しておくことをお勧めします。

補足

- ここでは、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」をインストールした場合の画面を例に説明しています。
- 「かんたんメニュー」画面を使わず、既存のメニュー画面で、「かんたんコピー」や「自分にメール」などの機能ボタンを表示させる場合は、「かんたんメニュー」の設定を変更する必要があります。設定方法は、「かんたんメニューを利用しない場合の設定」(P.26) を参照してください。

参照

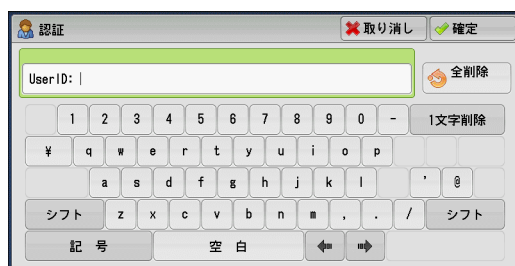
- 「かんたんメニュー」の詳しい操作方法については、『かんたん UI パッケージ A 取扱説明書』、または『かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時） 取扱説明書』を参照してください。

機能ボタンの追加

補足


- 「かんたんメニュー」画面に表示できる機能ボタンは、8 個までです。すでに 8 個の機能ボタンが表示されている場合は、「機能ボタンの削除」(P.23) を参照し、不要な機能ボタンを削除してから追加してください。

- 1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。
- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



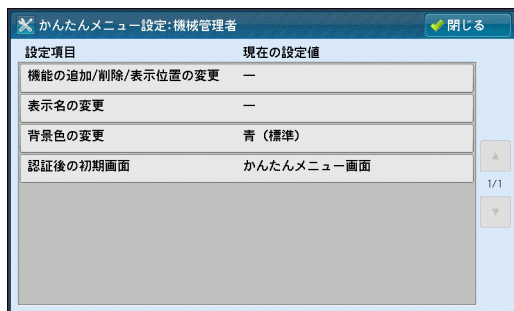
補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、「次へ」を押し、パスワードを入力します。

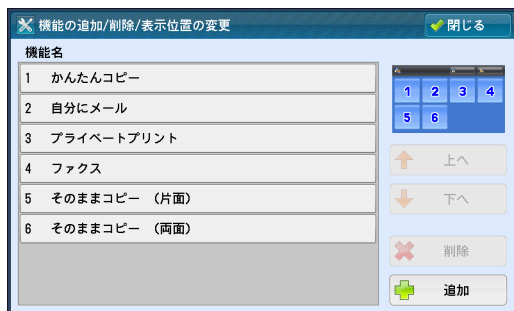
- 3 [かんたんメニュー] 画面で  (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



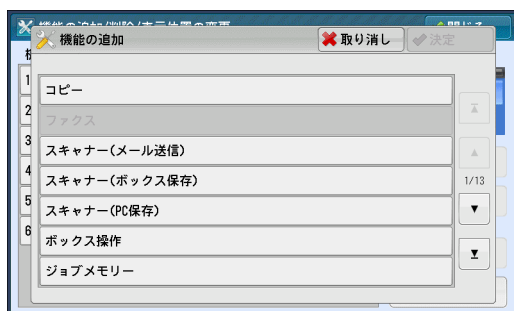
- 4 [機能の追加 / 削除 / 表示位置の変更] を選択します。



- 5 [追加] を押します。



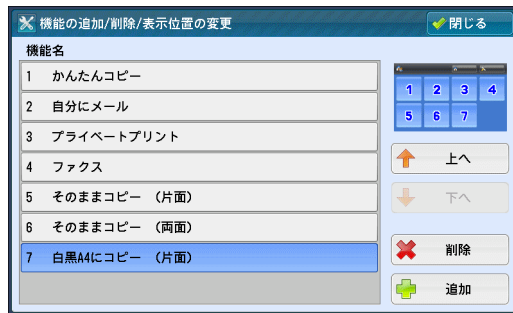
- 6 ボタンを追加する機能を選択し、[決定] を押します。



補足

- ▼ を押すと次のページを、▲ を押すと前のページを表示できます。また、⏮ を押すと最初のページを、⏭ を押すと最後のページを表示できます。
- [ファクス受信モード]、[通信管理レポート]、[言語切り替え]、[登録 / 変更]、[プリンターモード] を選択するときは、⏭ でリストの最後のページを表示し、リストの下から探していくことをお勧めします。

7 追加した機能ボタンの位置を調整します。



■ 機能名

[かんたんメニュー] 画面に配置する機能ボタンを表示します。

各機能名の先頭にある数字は、画面右上に表示されているイメージ内の数字と一致します。イメージを確認しながら、機能ボタンの表示位置を設定します。

■ 上へ

選択中の機能が一つ上に移動します。

■ 下へ

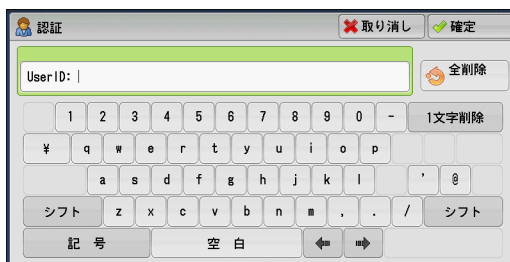
選択中の機能が一つ下に移動します。

8 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

機能ボタンの削除


1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



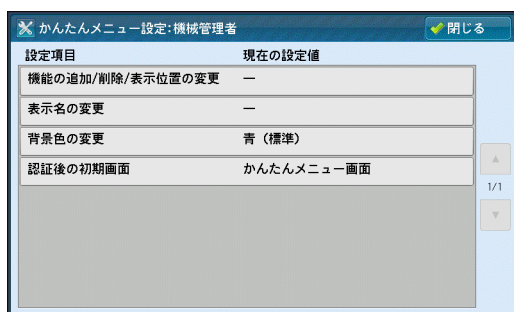
補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

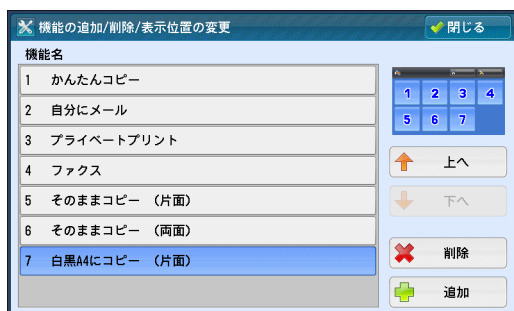
- 3 [かんたんメニュー] 画面で  (かんたんメニュー設定) ボタンを押します。



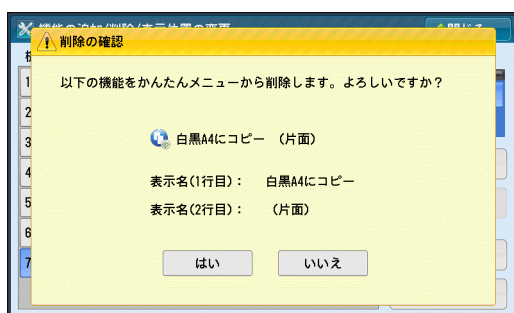
- 4 [機能の追加 / 削除 / 表示位置の変更] を選択します。



- 5 削除する機能ボタンを選択し、[削除] を押します。



- 6 [はい] を押します。



- 7 メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

各機能を利用するための環境設定

機能によっては、「かんたんメニュー」を利用するための環境設定に加え、次の設定をする必要があります。

補足

- 各設定の詳細な手順については、『管理者ガイド』を参照してください。

参照

- 「かんたんメニュー」を利用するための環境設定については、「かんたんメニューを利用するための環境設定」(P.8)を参照してください。

自分にメール

補足

- この機能は、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」をインストールした場合のみ、利用できます。

■ Web ブラウザーの設定

- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「Web ブラウザー設定」 > 「終了時のキャッシュ削除」が「する」に設定されている。

■ HTTP 接続の設定

- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「ポート設定」 > 「インターネットサービス (HTTP)」 > 「インターネットサービス - ポート」が「起動」に設定されている。

■ スキャナー（メール送信）の設定

- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「ポート設定」 > 「メール送信」 > 「メール送信 - ポート」が「起動」に設定されている。
- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「プロトコル設定」で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスなど、TCP/IP 環境で機械を使用するための項目が設定されている。
- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「本体メールアドレス / ホスト名」で、本体メールアドレスやホスト名などが設定されている。
- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「その他の設定」 > 「メール受信プロトコル」が「SMTP」、または「POP3」に設定されている。
- 「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「メール送受信設定」 > 「SMTP サーバー設定」で、SMTP サーバーの設定がされている。
- 受信プロトコルが POP3 の場合は、「仕様設定 / 登録」画面の、「仕様設定」 > 「ネットワーク設定」 > 「メール送受信設定」 > 「POP3 サーバー設定」で、POP3 サーバーの設定がされている。

■ 認証ユーザーのメールアドレスの設定

- 本機能を使用するユーザーが登録され、かつメールアドレスが設定されている。

そのままコピー（片面）、そのままコピー（両面）、白黒 A4 にコピー（片面）、白黒 A4 にコピー（両面）

■ 自動リセット後の画面の設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [自動リセット後の画面] が [メニュー] に設定されている。

補足

- この設定は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [デバイスへのアクセス] を、[制限する] に設定している場合は、必須ではありません。

ボックス #001 にスキャン（片面）、ボックス #001 にスキャン（両面）

■ 親展ボックスの作成

- 親展ボックスの 001 が作成されている。

注記

- 親展ボックスの作成は機械管理者が行い、[アクセス制限] は [設定しない] を選択してください。
- すでに親展ボックス 001 が、個人の親展ボックスとして作成されている場合は、一度削除したうえで、本機能に使うボックスとして作成し直してください。
親展ボックス 001 を削除せずに、そのまま設定を変更した場合、すでに文書が格納されていると、他のユーザーが閲覧可能な状態になりますのでご注意ください。

■ 自動リセット後の画面の設定

- [仕様設定 / 登録] 画面の、[仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [自動リセット後の画面] が [メニュー] に設定されている。

補足

- この設定は、[仕様設定 / 登録] 画面の、[認証 / セキュリティ設定] > [認証の設定] > [アクセス制御] > [デバイスへのアクセス] を、[制限する] に設定している場合は、必須ではありません。

かんたんメニューを利用しない場合の設定

「かんたん UI パッケージ」をインストールすると、既存のメニュー画面のかわりに、[かんたんメニュー] 画面が表示されます。

この画面を使わず、既存のメニュー画面で、「かんたんコピー」や「自分にメール」などの機能ボタンを表示させる場合は、次の設定をしてください。

補足

- ここでは、「かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時）」をインストールした場合の画面を例に説明しています。
- 本パッケージをアンインストールした場合は、「かんたんメニュー」だけでなく、パッケージに含まれるすべての機能、およびすべてのユーザーの「かんたんメニュー」の設定が削除されます。

1 操作パネルの〈認証〉ボタンを押します。

- 2 操作パネルの〈数字〉ボタン、または表示されるキーボードを使って、機械管理者の User ID を入力し、[確定] を押します。



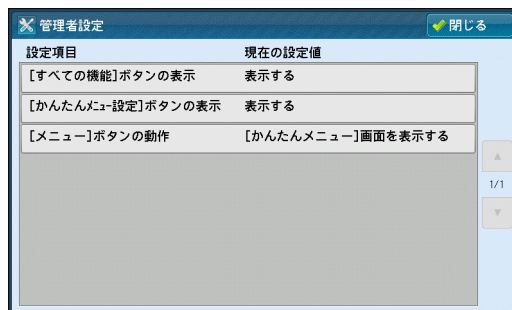
補足

- パスワードの入力が必要な場合は、機械管理者の User ID を入力したあと、[次へ] を押し、パスワードを入力します。

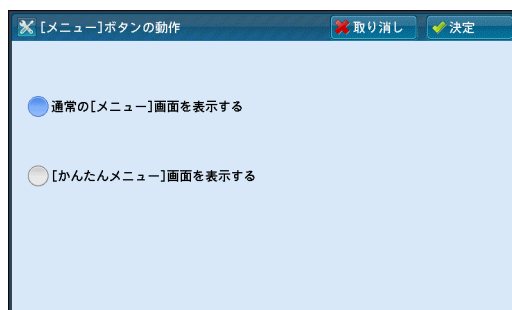
- 3 [かんたんメニュー] 画面で  (管理者設定) ボタンを押します。



- 4 [[メニュー] ボタンの動作] を押します。



- 5 [通常の [メニュー] 画面を表示する] を選択し、[決定] を押します。



- 6 [閉じる] を押します。

- 7** 通常のメニュー画面が表示されるので、[仕様設定 / 登録] > [仕様設定] > [共通設定] > [画面 / ボタンの設定] > [メニュー画面の機能配列] で、必要なボタンを追加します。

補足

- 詳しくは、『管理者ガイド』を参照してください。

- 8** メニュー画面に戻るまで、[閉じる] を押します。

索引

記号・英数

SSL/TLS 設定 10

ア

アンインストール 19

イ

インストール 13

インストールツール 13

カ

環境設定（かんたんメニュー） 8

環境設定（自分にメール） 25

環境設定（白黒 A4 にコピー） 26

環境設定（そのままコピー） 26

環境設定（ボックス #001 にスキャン） 26

かんたん UI パッケージ 3

かんたん UI パッケージ A 4

かんたん UI パッケージ B（認証モード運用時） 4

かんたんメニュー画面 17

かんたんメニューを利用しない場合の設定 26

キ

機能ボタンの削除 23

機能ボタンの追加 21

ソ

ソフトウェアオプションのパスワード 6

タ

対応 OS 5

対応機種 5

ト

動作環境 5

ハ

バージョンアップ 19

バージョン情報 20

かんたん UI パッケージ インストールガイド

著作者－富士ゼロックス株式会社
発行者－富士ゼロックス株式会社

発行年月－2013 年 6 月 第 1 版

(帳票番号 :ME6382J1-1)